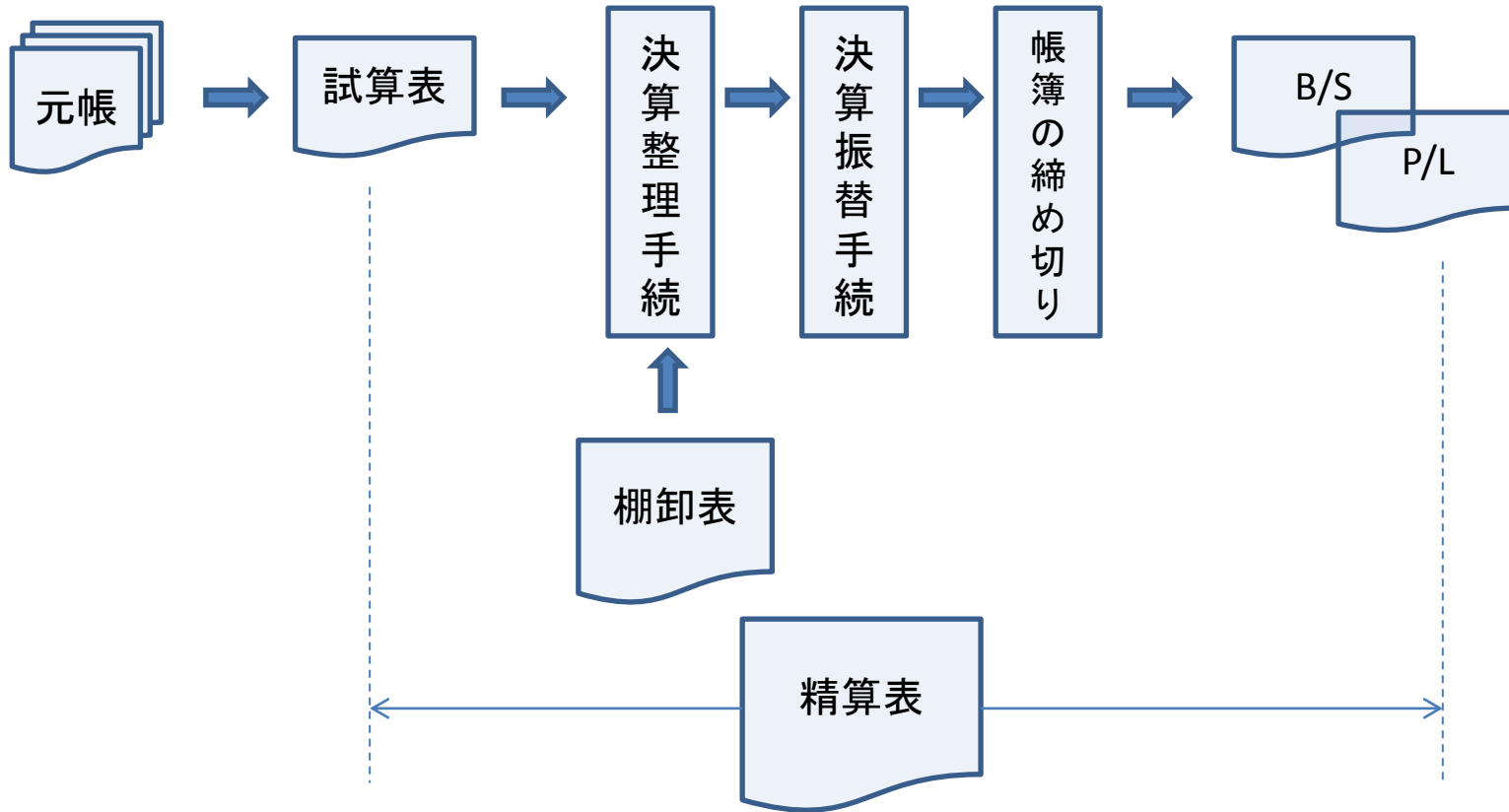


## 第18章 決算と財務諸表(その2)

- ① 決算と決算手続き
- ② 試算表の作成
- ③ 棚卸表の作成と決算整理事項
- ④ 精算表の作成
- ⑤ 決算振替手続と元帳の締め切り
- ⑥ 財務諸表の作成

# ① 決算と決算手続き



## ② 試算表の作成（例題）

期首の貸借対照表に期中の取引を加算する。

- ① まずB)期中取引を勘定ごとにまとめる。
- ② 勘定毎の残高を求める。
- ③ 期首の貸借対照表の借方、貸方に期中の借方、貸方の残高(増減)を反映する。

	取引内容	現金出納帳	当座預金出納帳	仕入帳	売上帳	支払手形帳	受取手形帳
1	商品の売上	30,000			30,000		
2	売掛金回収	80,000					
3	当座預金からの引出高	30,000	-30,000				
4	商品の仕入れ	-50,000		50,000			
5	給料支払	-62,000					
6	広告費の支払高	-18,000					
7	備品の購入高	-40,000					
8	売掛金の回収		180,000				
9	受取手形の取立高		105,000				-105,000
10	受取手形の割引高		39,200				-40,000
11	買掛金の支払高		-96,000				
12	支払手形の決済高		-80,000			-80,000	
13	借入金元利支払高		-61,500				
14	商品の仕入高		-70,000	70,000			
15	家賃の支払高		-30,000				
16	掛による仕入			284,000			
17	約束手形振出による仕入			88,000		88,000	
18	掛による売上				365,000		
19	手形受入による売上				110,000		110,000
20	買掛金の支払い					73,000	
21	売掛金の回収						60,000

b	130,500	4	50,000
1	30,000	5	62,000
2	80,000	6	18,000
3	30,000	7	40,000
<hr/>			
	100,500		

6	18,000		
---	--------	--	--

b	200,000		
7	40,000		
<hr/>			
	240,000		

5	62,000		
---	--------	--	--

10	800		
----	-----	--	--

b	200,500	3	30,000
8	180,000	11	96,000
9	105,000	12	80,000
10	39,200	13	61,500
		14	70,000
		15	30,000
<hr/>			
	157,200		

b	115,000		
		2	80,000
18	365,000	8	180,000
		21	60,000
		II-1	50,000
		II-2	3,000
<hr/>			
	107,000		

b	85,000		
19	110,000	9	105,000
21	60,000	10	40,000
<hr/>			
	110,000		

b	4,000		
II-2	3,000		
<hr/>			
	1,000		

b	162,000		
11	96,000	17	284,000
20	73,000		
II-1	50,000		
<hr/>			
			227,000

		b	155,000
12	80,000	17	88,000
		20	73,000
		<hr/>	
			236,000

借入金

		b	140,000
13	60,000		
			<u>80,000</u>

支払利息

13	1,500	
----	-------	--

繰越商品

b	100,000
---	---------

仕入

4	50,000	
14	70,000	
16	284,000	
17	88,000	
		<u>492,000</u>

売上

1	30,000	
	365,000	
	110,000	
		<u>505,000</u>

減価償却累計額

b	90,000
---	--------

資本金

b	280,000
---	---------

支払家賃

15	30,000
----	--------

勘定科目	貸借対照表平成23年4月1日		期中取引		残高試算表平成24年3月31日	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	130,500		140,000	170,000	100,500	
当座預金	200,500		324,200	367,500	157,200	
受取手形	85,000		170,000	145,000	110,000	
売掛金	115,000		365,000	373,000	107,000	
繰越商品	100,000				100,000	
備品	200,000		40,000		240,000	
支払手形		155,000	80,000	161,000		236,000
買掛金		162,000	219,000	284,000		227,000
借入金		140,000	60,000			80,000
貸倒引当金		4,000	3,000			1,000
減価償却累計額		90,000				90,000
資本金		280,000				280,000
売上				505,000		505,000
仕入			492,000		492,000	
給料			62,000		62,000	
支払家賃			30,000		30,000	
広告費			18,000		18,000	
支払利息			1,500		1,500	
手形売却損			800		800	
	831,000	831,000	2,005,500	2,005,500	1,419,000	1,419,000

### ③ 棚卸表の作成と決算整理事項

期末の試算表に修正取引を加算する。

- ① まず期末整理事項を勘定ごとにまとめる。
- ② 勘定毎の残高を求める。
- ③ 期末の試算表の借方、貸方に期末整理の借方、貸方の残高(増減)を反映する。



## 3分法

- 一般的で特に「分記法で」と指定がなければ「3分法」と考える。
- 売上原価 = 期首商品棚卸高 + 純仕入高 - 期末商品棚卸高
- 売上原価は販売したモノの仕入値はいくらであったかを示す。
- まず前期に売れ残ったモノ(期首商品棚卸高)が売れ、次に当期に仕入れたモノ(純仕入高)が全額売れたと仮定する。しかし実際には売れ残り(期末商品棚卸高)があるのでこれを差し引くと実際に売れたモノの原価がわかる、という仕組みになっている。
- 売上原価の計算は第18章(p. 184)。とりあえず、3分法では売れた時の仕訳は以下の通り。

(借)	仕入	100	(貸)	買掛金	100
(借)	売掛金	150	(貸)	売上	150

売上		600,000
売上原価		
期首商品	100,000	
当期仕入	500,000	
期首及び当期仕入商品合計	600,000	
期末商品	200,000	
売上原価		400,000
売上総利益		200,000

### ③ 棚卸表の作成と決算整理事項

#### 1. 3分法(p. 69)による売上原価の計算

- 売上原価 = 期首商品棚卸高 + 純仕入高 - 期末商品棚卸高

(借)	仕入	100,000	(貸)	繰越商品	100,000
-----	----	---------	-----	------	---------

(借)	繰越商品	200,000	(貸)	仕入	200,000
-----	------	---------	-----	----	---------

#### 2. 売上原価の計算

- 売上原価 = 期首商品棚卸高 + 純仕入高 - 期末商品棚卸高
- 売上原価 = 100,000 + 500,000 - 200,000 = 400,000

	残高試算表		修正仕訳		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	100,000		200,000	100,000			200,000	
仕入	500,000		100,000	200,000			400,000	

例題 (pp. 186 - 189) は、④ 精算表を使い説明する。

決算整理前残高試算表

平成〇年3月31日

借方	勘定科目	貸方
567,000	現金	
500,000	売掛金	
160,000	売買目的有価証券	
300,000	貸付金	
480,000	繰越商品	
200,000	備品	
	買掛金	450,000
	貸倒引当金	7,000
	資本金	1,550,000
	売上	1,860,000
	受取利息	20,000
1,275,000	仕入	
330,000	支払家賃	
75,000	支払保険料	
3,887,000		3,887,000

棚卸表

平成〇年3月31日

修正科目	摘要	金額
繰越商品	甲商品 @¥500 x 800個 = ¥400,000	p.69
	乙商品 @¥300 x 500個 = ¥150,000	550,000
貸倒引当金	売掛金期末残高 ¥500,000 x 2% = ¥10,000。貸倒引当金残高 ¥7,000	p.95 3,000
有価証券評価損	A社株式 原価 @¥800 x 200株 = ¥160,000 時価 @¥780 x 200株 = ¥156,000	p.129 ~ 130 4,000
減価償却費	備品 帳簿価額¥200,000に対し残存価額ゼロ、耐用年数4年の定額法	p.137 50,000
前払保険料	未経過3ヶ月分	p.151 15,000
未払家賃	未払1ヶ月分 →追加仕訳	30,000
未収利息	貸付金¥300,000に対し年5%、4ヶ月分	p.149 5,000
		657,000

精算表(1)

勘定科目	試算表		修正記入		決算整理後残高試算表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	567,000				567,000	
売掛金	500,000				500,000	
売買目的有価証券	160,000			4,000	156,000	
貸付金	300,000				300,000	
繰越商品	480,000		550,000	480,000	550,000	
備品	200,000			50,000	150,000	
買掛金		450,000				450,000
貸倒引当金		7,000		3,000		10,000
資本金		1,550,000				1,550,000
売上		1,860,000				1,860,000
受取利息		20,000		5,000		25,000
仕入	1,275,000		480,000	550,000	1,205,000	
支払家賃	330,000		30,000		360,000	
支払保険料	75,000			15,000	60,000	
	3,887,000	3,887,000				
貸倒引当金繰入			3,000		3,000	
有価証券評価損			4,000		4,000	
減価償却費			50,000		50,000	
前払保険料			15,000		15,000	
未払家賃				30,000		30,000
未収利息			5,000		5,000	
			1,137,000	1,137,000	3,925,000	3,925,000

精算表(2) = 8桁精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	567,000						567,000	
売掛金	500,000						500,000	
売買目的有価証券	160,000			4,000			156,000	
貸付金	300,000						300,000	
繰越商品	480,000		550,000	480,000			550,000	
備品	200,000			50,000			150,000	
買掛金		450,000						450,000
貸倒引当金		7,000		3,000				10,000
資本金		1,550,000						1,550,000
売上		1,860,000				1,860,000		
受取利息		20,000		5,000		25,000		
仕入	1,275,000		480,000	550,000	1,205,000			
支払家賃	330,000		30,000		360,000			
支払保険料	75,000			15,000	60,000			
	3,887,000	3,887,000						
貸倒引当金繰入			3,000		3,000			
有価証券評価損			4,000		4,000			
減価償却費			50,000		50,000			
前払保険料			15,000				15,000	
未払家賃				30,000				30,000
未収利息			5,000				5,000	
当期純利益					203,000			203,000
			1,137,000	1,137,000	1,885,000	1,885,000	2,243,000	2,243,000

## ⑤ 決算振替手続と元帳の締め切り(例題)

### 現金

前期繰越	1,000	諸口	4,770
諸口	4,570		
雑益	55		

### 繰越商品

前期繰越	2,400	仕入	2,400
仕入	2,700		

### 買掛金

諸口	2,300	前期繰越	2,660
		諸口	1,600

### 貸倒引当金

諸口	30	前期繰越	40
		貸倒引当金繰入	42

### 売掛金

前期繰越	2,000	諸口	2,400
諸口	3,000		

### 備品

前期繰越	3,800	減価償却費	460
------	-------	-------	-----

### 借入金

諸口	500	前期繰越	3,000
		諸口	1,000

### 資本金

		前期繰越	3,500
--	--	------	-------

売上

諸口	200	諸口	4,800
----	-----	----	-------

給料

諸口	800		
未払給料	40		

支払利息

諸口	80		
----	----	--	--

貸倒引当金繰入

貸倒引当金	42		
-------	----	--	--

未払給料

		給料	40
--	--	----	----

仕入

諸口	2,850	諸口	150
繰越商品	2,400	繰越商品	2,700

支払家賃

諸口	390	前払家賃	30
----	-----	------	----

雑益

		現金	55
--	--	----	----

減価償却費

備品	460		
----	-----	--	--

前払家賃

支払家賃	30		
------	----	--	--

## ⑤ 決算振替手続と元帳の締め切り(続)

### 現金

前期繰越	1,000	諸口	4,770
諸口	4,570	次期繰越	855
雑益	55		
	5,625		5,625

### 売掛金

前期繰越	2,000	諸口	2,400
諸口	3,000	次期繰越	2,600
	5,000		5,000

### 繰越商品

前期繰越	2,400	仕入	2,400
仕入	2,700	次期繰越	2,700
	5,100		5,100

### 備品

前期繰越	3,800	減価償却費	460
		次期繰越	3,340
	3,800		3,800

### 買掛金

諸口	2,300	前期繰越	2,660
次期繰越	1,960	諸口	1,600
	4,260		4,260

### 借入金

諸口	500	前期繰越	3,000
次期繰越	3,500	諸口	1,000
	4,000		4,000

### 貸倒引当金

諸口	30	前期繰越	40
次期繰越	52	貸倒引当金繰入	42
	82		82

### 資本金

次期繰越	3,973	前期繰越	3,500
		損益	473
	3,973		3,973



売上

諸口	200	諸口	4,800
損益	4,600		
	<u>4,800</u>		<u>4,800</u>

給料

諸口	800	損益	840
未払給料	40		
	<u>840</u>		<u>840</u>

支払利息

諸口	80	損益	80
----	----	----	----

貸倒引当金繰入

貸倒引当金	42	損益	42
-------	----	----	----

未払給料

次期繰越	40	給料	40
------	----	----	----

仕入

諸口	2,850	諸口	150
繰越商品	2,400	繰越商品	2,700
		損益	2,400
	<u>5,250</u>		<u>5,250</u>

支払家賃

諸口	390	前払家賃	30
		損益	360
	<u>390</u>		<u>390</u>

雑益

損益	55	現金	55
----	----	----	----

減価償却費

備品	460	損益	460
----	-----	----	-----

前払家賃

支払家賃	30	次期繰越	30
------	----	------	----

### 損益

仕入	2,400	売上	4,600
給料	840	雑益	55
支払家賃	360		
支払利息	80		
貸倒引当金繰入	42		
減価償却費	460		
資本金	473		
	<hr/>		<hr/>
	4,655		4,655

これが当期の純利益。損益勘定を通して資本金に組み入れられる。

### 繰越試算表

現金	855	買掛金	1,960
売掛金	2,600	借入金	3,500
繰越商品	2,700	貸倒引当金	52
備品	3,340	資本金	3,973
前払い家賃	30	未払い給料	40
	<hr/>		<hr/>
	9,525		9,525

# 損益計算書

## 勘定式の様式

### 損益計算書

自平成23年1月1日至12月31日

費用	金額	収益	金額
給料	27,600	商品売買益	78,000
支払地代	6,000		
支払利息	2,400		
当期純利益	42,000		
	78,000		78,000

## 報告式の様式

### 損益計算書

自平成23年1月1日至12月31日

	金額
商品売買益	78,000
給料	27,600
支払地代	6,000
支払利息	2,400
当期純利益	42,000

# 貸借対照表

## 勘定式の様式

### 貸借対照表

自平成23年12月31日

資産	金額	負債・純資産	金額
現金	270,000	買掛金	228,000
売掛金	120,000	借入金	96,000
商品	234,000	資本金	300,000
備品	42,000	当期純利益	42,000
資産合計	666,000	負債・純資産合計	666,000

## 報告式の様式

### 貸借対照表

自平成23年12月31日

資産	金額
現金	270,000
売掛金	120,000
商品	234,000
備品	42,000
資産合計	666,000
買掛金	228,000
借入金	96,000
資本金	300,000
当期純利益	42,000
負債・純資産合計	666,000

## 例題 (pp. 210 - 212)

1. 精算表を使って考えてみよう。
2. まず与えられた勘定残高を借方・貸方に整理する。
3. 次にPL勘定を損益計算書の欄に書き写し、収益と費用の差額である当期純利益、または当期純損失を求める。
4. 残った勘定がBS勘定なので貸借対照表の欄に書き写す、上記の当期純利益、または当期純損失の金額を借方(純損失の場合)または貸方(純利益の場合)に当てはめると、借方・貸方の合計額が一致し貸借対照表等式が完成する。
5. 上記で得られた勘定毎の金額を損益計算書、貸借対照表の様式に書き写し損益計算書、貸借対照表が完成する。
6. 設問によっては、貸借対照表の表示で当期純利益または当期純損失が資本金に組み入れられる場合があるので注意すること。

勘定科目	試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	800				800	
当座預金	2,800				2,800	
売掛金	1,200				1,200	
売買目的有価証券	950				950	
繰越商品	970				970	
建物	2,000				2,000	
備品	800				800	
買掛金		900				900
借入金		3,800				3,800
貸倒引当金		25				25
建物減価償却累計額		860				860
備品減価償却累計額		200				200
資本金		2,500				2,500
売上		6,995		6,995		
受取利息		360		360		
仕入	3,650		3,650			
給料	800		800			
支払家賃	650		650			
支払保険料	580		580			
貸倒引当金繰入	20		20			
減価償却費	290		290			
有価証券評価損	50		50			
未払家賃		180				180
前払保険料	200				200	
未收利息	60				60	
当期純利益			1,315			1,315
			7,355	7,355	9,780	9,780

## 損益計算書

平成〇1年4月1日から平成〇2年3月31日

費用	金額	収益	金額
売上原価	3,650	売上高	6,995
給料	800	(受取利息)	360
支払家賃	650		
支払保険料	580		
(貸倒引当金繰入)	20		
(減価償却費)	290		
(有価証券評価損)	50		
(当期純利益)	1,315		
	7,355		7,355

## 貸借対照表

平成〇2年3月31日

資産	金額		負債及び純資産 (資本)	金額
現金		800	買掛金	900
当座預金		2,800	(借入金)	3,800
売掛金	1,200		(未払費用)	180
(貸倒引当金)	△25	1,175	資本金	2,500
売買目的有価証券		950	(当期純利益)	1,315
商品		970		
(前払費用)		200		
(未収収益)		60		
建物	2,000			
(減価償却累計額)	△860	1,140		
(備品)	800			
(減価償却累計額)	△200	600		
		8,695		8,695